

平成23年度埼玉県博物館連絡協議会第1回役員会会議録

【開催期日】平成22年4月22日（金） 13時00分～13時50分

【開催場所】埼玉県立歴史と民俗の博物館 講座室

【出席者】役員 矢部 保雄（歴史と民俗の博物館長）
松田 正彦（川口市立科学館副館長・代理出席）
山形 洋一（さいたま市立漫画会館長）
山崎 登貴子（山崎美術館長）
宮坂 純（所沢航空発祥記念館副館長・代理出席）
坪田 幹男（ふじみ野市立大井郷土資料館長）
黒澤 一雄（入間市博物館 ALIT 館長）
實松 幸男（春日部市郷土資料館長）
井上 肇（さきたま史跡の博物館長）
西 富男（秩父美術館・仏教資料館）
中 紀雄（秩父市立荒川歴史民俗資料館長）
事務局 浅野 晴樹（歴史と民俗の博物館 副館長）
井上 尚明（同上 主席学芸主幹）
二階堂 実（同上 学芸主幹）
山田 昌紀（同上 主任）
栗原 芳典（同上 主事）

【会議内容】

1 報告事項

平成22年度退会館及び新規入会館について【役員会資料1】

退会館：ジョンレノンミュージアム

新規入会館：さいたま市大宮盆栽美術館 木の博物館 木力館

上記の3件を事務局より報告。

なお、23年度については現在のところ、退会及び新規入会はないが、さいたま市において組織改編があったので平成23年度予算案のなかで詳細説明をすると補足

3 協議事項

(1)平成22年度事業報告（案）について【役員会資料2】

・事務局より報告し承認される。

(2)平成22年度決算報告（案）について【役員会資料3】

・事務局より報告

・監査より監査報告を受け承認される。

(3)平成23年度事業計画（案）について【役員会資料4】・別紙新聞広告案

・事務局より提案し承認される。

(4)平成23年度予算（案）について【役員会資料5】

・事務局より提案し承認される。

補足説明

さいたま市組織改編によりさいたま市博が中央館になり、その下部組織としてさいたま市立浦和博物館・浦和くらしの博物館民家園・旧板東家住宅見沼くらしっく館が存在することとなった。そのため埼博連の加入はさ

いたま市博のみとなり、その他3館はいわゆる分館扱いとすることとなる。

(5)その他【役員会資料6】

- 東日本大震災による被災者支援について
県立の9施設は既に4/16(土)から無料化を実施している。趣旨に賛同できる館は御協力いただきたい。
また、国際博物館の日(5/18)にあわせて新聞広告の掲載を事業計画(案)に盛り込んでいるが、加盟館園一覧を掲載する予定なので、被災者無料の館園は何らかのマークを施す予定である。
- 東日本大震災による被害状況調査について
今回の震災による埼博連加盟館の被害状況をアンケート形式で取りまとめ、今後の展示や資料保管のために役立てていこうとするものである。
・以上2点事務局より提案し承認される

※(3)~(5)に係る質疑応答

・役員より質疑

- ①新聞広告文案について、国際博物館の日のアピールと被災者支援のどちらがメインなのか？
- ②県では被災者無料を実施しているが、その確認方法は？
- ③各自治体によって、被災者の確認方法が違うと思うが、新聞広告にどう反映させるか？
- ④元々無料の館も掲載するのか？
- ⑤新聞広告については見られる方が、見やすい工夫をして欲しい
- ⑥予算案の中で広報イベント費に多くの予算を割いているが、秩父地域に限って言えば、埼博連のマップより秩父のマップの方が人気があったりする。地域別の予算が少なくやりたいことが出来ないことが多々あるため、地域別連絡協議会費の方に多くの予算を割くことも検討して欲しい。
- ⑦さいたま市の件については、埼博連発足当初は想定していなかったことである。いま一度、整理すべきである。

・事務局より回答

- ①チーフ館会議において国際博物館の日に何か埼博連としての事業が出来ないか検討がなされた。元々は国際博物館の日のPRとしての新聞広告掲出であったが、後に震災があり、その趣旨も盛り込むこととなったので原案では国際博物館の日が上段にきている。
- ②県立の施設では性善説に立ち口頭での申し出となっている。
- ③個別事案の細かな情報を入れ込むことは難しい。「詳細は各館へお問い合わせください」等のアナウンスを入れ込む事を検討している。
- ④加盟館園一覧を掲載し、そこに無料の館は何らかのマークを入れることを検討している。
- ⑤そのように検討していく。
- ⑥チーフ館会議においても話題に出たことがある。今後の予算配分のあり方など6月のチーフ館会議において検討する。
- ⑦了解しました。